

○番号は、重点項目

学校経営ビジョン	重点目標	番号	ゴールイメージ	自己評価			自己評価コメント	学校関係者 評価(4点満点)	学校関係者 評価コメント
				教師	児童	保護者			
家庭及び地域 社会との連携・ 融合に立ち、生 命尊重・人間尊 重を基盤とした 学校経営を推 進することによ り、確かな学力 を身につけた心 豊かで心身とも に健康な児童を 育成する。  ↓  信頼される学 校・地域に根ざ す学校づくり	主体的な学習態度の育成と学力向上	①	望ましい学習習慣や主体的な学習態度の育成	教師	2.8	始まりのチャイムの合図で黙想する取組が定着している。児童の興味・関心を高める手立てを取り入れ、生き生きと学ぶ姿を育成していきたい。	3.3	・チャイムの合図で黙想して学習開始に結びつけるやり方は大切なことである。 ・参観日の授業態度は、どのクラスも落ち着いて学習に取り組んでいた。取組が定着していると感じた。	
				児童	3.4				
				保護者	3.0				
		教師	3.2	算数を研究教科とし、全学年、研究授業に取り組むとともに研究内容を授業実践に生かしてきた。数学的な思考力を伸ばすためにさらに研究に努めたい。	3.5	・本年度もサマースクールに退職校長会で参加したが、意欲的に学習をするし、積極的に質問をし自分で解決しようとする態度を見て感心した。 ・保護者の評価が低いのは、結果が十分に伝わっていないからと考えられるので、PRの必要があるのではないか。			
	児童	3.3							
	保護者	2.9							
	教師	2.9	宿題の提出は全校的によいと考えるが、自主的な取組はもう少しである。家庭学習の手引きを随時活用し、家庭と連携を図りながら、指導に努めたい。	3.0	・宿題を家庭でも点検する習慣がつくと、児童は自分から進んでやるようになるのではないだろうか。 ・家庭学習は保護者の理解・協力が重要であり、家庭学習の手引きの活用など学年に応じた取組をお願いする。 ・家庭学習に自主的に取り組んでもらいたい。				
	児童	3.1							
	保護者	2.7							
	家庭・地域社会・学校間の連携推進	4	読書活動の充実	教師	3.0	図書室を利用する姿がよく見られ、学校全体の読書量は増えている。親子読書(おうちDE読書)の取組をしているが、さらに啓発が必要と考える。	3.1	・低学年の児童は読み聞かせが有効である。 ・親子読書は、親子の触れ合いと共通の話題づくりに有効であり、継続した取組をお願いする。 ・読書は学力向上に役立つと思う。	
				児童	3.2				
				保護者	2.6				
		5	特色ある学校づくり	教師	2.7	学校行事等を充実させ、学校便り等でその取組を紹介している。開かれた学校づくりの充実やめざす児童像達成の具体的指導が必要である。	3.5	・4年生のはんびどん(地域の歴史)の発表を見てすごいと思った。市音楽祭で生目小の合唱は地域性が出てよかった。 ・学校便り等の紹介は、家庭・地域との連携になっている。	
				児童	3.4				
				保護者	3.1				
6		地域教育力の活用	教師	2.6	外部講師の招聘及び地域と連携した取組を積極的に行っている。指導計画や内容を見直し、さらなる充実を努めたい。	3.4	・サマースクールでの退職校長会への要請、オープンスクール等、多くの地域の方々から参観されており、学校の取組がよく浸透している。 ・生目ふるさと学習や地域行事を通じて「ふるさと生目」を理解させようとする努力が実りつつあると感じた。 ・児童は地域とのつながりはできていると思う。		
	児童		3.3						
	保護者		3.1						
7	小中連携による学習指導・生徒指導の充実	教師	2.6	両中学校区の小中学校との児童生徒間、職員間の交流活動の機会は限られており、連携の在り方を見直さなくてはならない。	3.0	・小中連携により、中学校指導の良い点を取り入れて生かしてほしい。 ・生目中、生目南中の2校に分かれて進学するため、安心して中学校に進学できるよう小中連携による指導をお願いする。			
		児童	2.6						
		保護者	2.6						
健全やかな心身の育成	⑧	気持ちのよいあいさつの指導	教師	2.6	生徒指導部を中心に「あいさつ+1」の取組を推進している。地域でのあいさつが今一歩とのご指摘もあり、引き続き校外でのあいさつ指導に力を入れていきたい。	3.4	・生目小児童は、相手の方をよく見て元気の良いハキハキしたあいさつができる。 ・「+1」は大人でも難しいので、長い目で見たい。		
			児童	3.5					
			保護者	3.1					
	9	身だしなみ指導の充実	教師	3.1	朝の登校班や学級での健康観察時に「ナ・ポ・ハ・チツ」のチェックをしていることで、児童への意識付けはできている。衛生面の指導は継続していきたい。	3.5	・毎日の身なりのチェックは、意識付けのため大切だと思う。継続をお願いする。 ・「ナ・ポ・ハ・チツ」の指導は素晴らしいと思う。		
			児童	3.5					
			保護者	3.2					
10	清掃指導の充実	教師	2.7	チャイム黙想で昼休みと清掃との意識の切り替えをし、無言清掃指導を行っているが、細部まで行き届いていない。家庭との連携にも力を入れたい。	3.2	・学校だけでなく、家庭でのお手伝いもさせたい。 ・自分達が使用する場所を自分達できれいにする心が育っていると思う。継続指導をお願いする。 ・保護者の評価が低いのが気になる。			
		児童	3.3						
		保護者	2.5						
11	学年・学級経営の充実	教師	3.1	「楽しい学校生活を送っている」という回答が殆どであったが、学年・学級のまとまりや目標達成を意識した取組を適宜取り入れ、生活への意欲を高めたい。	3.6	・子どもたちにとって「学校が楽しい」ということは、一番大切なことだと思う。全児童が元気に登校する取組の継続をお願いする。			
		児童	3.6						
		保護者	3.4						
12	人権や生命の尊重、望ましい人間関係の醸成	教師	2.7	日常の児童とのふれあいや観察のほか、生活アンケートや教育相談を計画的に実施し、諸問題の対応に努めている。思いやりのある行動を高めたい。	3.4	・思いやりの心を持ち、友達と仲良く生活できる態度を育てるには道德教育の充実が必要と思う。 ・教師は日頃から子どもたちに信頼される身近な存在である。引き続き、観察・指導をお願いする。			
		児童	3.4						
		保護者	3.2						
食育・健康安全教育の充実	13	健康な生活習慣の形成	教師	2.7	「生目っ子ノート」による生活リズム定着への取組、アイアイタイムの実践、病気やインフルエンザの予防等のほか、安全意識の向上にも力を注ぎたい。	3.3	・アイアイタイム、インフルエンザ予防等、日頃の実践が効果をあげている。 ・「生目っ子ノート」が生活リズムの確認・見直しに重要な役割を果たしていると思う。		
			児童	3.3					
			保護者	3.0					
	14	食に対する正しい知識や関心の育成	教師	2.5	栄養教諭との連携による食育指導や給食指導により、食への関心は高まっているが、家庭との連携もさらに充実させ、バランスのとれた食事ができるようにしたい。	3.4	・動物の「命をいただく」、植物の「命をいただく」指導が大切である。バランスのとれた食事を、給食だけでなく家庭にも広めたいものである。 ・家庭と学校と連携し、これからもバランスのとれた食事をしてほしい。		
			児童	3.7					
保護者			3.0						
15	体力づくりの充実	教師	2.8	「進んで運動に取り組んでいる」と回答した児童は8割ぐらいである。保護者の回答はそれをやや下回る。体力向上プランに基づき、指導の工夫が必要である。	3.2	・運動会や持久走大会の子ども達の頑張りは、日頃からの体力づくりへの取組の成果と感じた。 ・進んで運動していると考えられる子が8割あるというのはよいことと思う。 ・遊びの中に取り入れてほしい。 ・朝の登校時に車で送ってもらう姿をよく見かけるが、体力不足、寝不足だろうか？			
		児童	3.5						
		保護者	3.1						

【総評】《本年度の取組について》 ○ 生目小では、食に対する正しい知識により、バランスのとれた食事、よくかむ習慣、動植物の命をいただくという感謝の心をもった指導がきちんとなされており、大きな成果をあげている。  
○ 「主体的な学習態度の育成と学力向上」については、始まりの合図で黙想する取組が定着している。算数を研究教科とし、全学年、研究授業に取り組む、研究内容を授業に取り入れ、考えさせる授業が実践されている。「読書活動の充実」については、学校全体の読書量は増えている。親子読書の取組等、引き続き啓発・指導をお願いしたい。 ○ 全体的によくできていると思う。教師評価が厳しいが、理想の教育を目指し頑張ってもらいたい。 ○ 地域との関係は大変良好だと思う。今後も「生目を愛する人」を育てる教育をお願いしたいと思う。